



支部だより

第 67 号

編集・発行
〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18
名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5124

2008.11.13

目次

- ・ 2008 年度（平成 20 年度）中部支部総会の報告 1
- ・ 中部支部第 18 期役員選挙結果の報告 2
- ・ 中部支部のウェブサイト作成の報告 2
- ・ 第 14 回公開気象講座の報告 3
- ・ 平成 20 年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム 3

◆ 2008 年度（平成 20 年度）中部支部総会の報告

2008 年度日本気象学会中部支部総会が 7 月 25 日（金）、17 時 00 分より名古屋地方気象台会議室において開催されました。開会の辞の後、牧原康隆支部長により、「学会は様々な専門分野の方々が集まる貴重な組織であり、地域の特徴を生かして支部として新しいことに取り組んでいきたい」という内容の挨拶がありました。その後、名古屋地方気象台の水科会員が議長として選出されました。

中部支部会員のうち、議決権を有する通常会員は 108 名となっています。総会成立のためには支部規約により、通常会員数の過半数の参加（委任状を含む）を必要とするために、54 名以上が必要となります。委任状（総会参加ハガキ）の総数が 52 通（ただし、総会参加者で委任状を提出した通常会員数を除く）である旨の報告がありました。委任状（52 通）と総会への通常会員の出席者（13 名）の総数（65 名）が、通常会員数（108 名）の過半数（54 名）を超えたことから、総会の成立が確認されました。

その後、支部だより第 66 号に掲載された議案(1)～(5)について審議されました。

(1) 2007 年度（平成 19 年度）事業報告

事務局より支部だより（第 64 号、65 号）の発行、第 13 回公開気象講座（「地球温暖化」というテーマで、2007 年 7 月 25 日に名古屋大学野依記念学術交流館にて開催され、約 40 名の参加があった）、支部研究会の開催（2007 年 11 月 19～20 日の 2 日間にわたって中部航空地方気象台において開催され、21 件の発表と気象台の見学が行われた）などについての報告があり、承認されました。

(2) 2007 年度（平成 19 年度）中部支部会計報告

事務局より 2007 年度の会計報告があり、承認されました。

(3) 2007 年度（平成 19 年度）中部支部会計監査報告

多々良会計監査より、2007 年度の支部会計が適正に処理されている旨の報告があり、承認されました。

(4) 2008 年度（平成 20 年度）中部支部事業計画案

事務局より今年度の事業計画案が下記のように提案され、承認されました。

- ・支部だよりの発行（第 66 号、第 67 号）。
- ・第 14 回公開気象講座を「気象が観測のブレークスルー：GPS 掩蔽法」というテーマで 8 月 25 日に名古屋能楽堂において開催する。
- ・今年度の支部研究会を 11 月に金沢において開催する。
- ・中部支部のウェブページを作成する。

(5) 2008 年度（平成 20 年度）中部支部予算案

事務局から今年度の事業計画に基づいた予算案が提案され、承認されました。

◆中部支部第 18 期役員選挙結果の報告

第 17 期役員の任期が 2008 年 6 月 30 日で満了となるため、第 18 期の支部役員選挙に伴う開票が 6 月 25 日に島田誠会員の立会いのもと、選挙管理委員会（水科進委員長、佐藤正男委員、吉村香委員）により行われましたので、以下のとおり開票結果をお知らせ致します。なお、第 18 期役員の任期は 2008 年 7 月 1 日から 2010 年 6 月 30 日までの 2 年間です。

1 . 理事

東海地区（愛知県、岐阜県、三重県）

当選	50 票	上田 博	名古屋大学
当選	49 票	坂上 公平	岐阜地方気象台
当選	49 票	牧原 康隆	名古屋地方気象台
当選	49 票	三田 昭吉	名古屋地方気象台
当選	48 票	甲斐 憲次	名古屋大学
当選	47 票	大和田道雄	愛知教育大学

北陸地区（富山県、石川県、福井県）

当選	48 票	井手 和夫	金沢地方気象台
----	------	-------	---------

長野・静岡地区（長野県、静岡県）

当選	47 票	三角 幸夫	長野地方気象台
----	------	-------	---------

2 . 会計監査

当選	48 票	多々良秀世	日本気象協会東海地区支配人
----	------	-------	---------------

◆中部支部のウェブサイト作成の報告

今年度の事業計画の一つであった中部支部のウェブサイトの作成を行いました。支部だよりをはじめ、その他の中部支部からの連絡もこのウェブサイトを通じで行いますので是非ご利用下さい。また従来通り、支部だよりやダイレクトメールによる連絡も行います。過去の支部だよりや支部研究会のプログラム等も掲載しております。中部支部のウェブサイトの URL は以下の通りです。

<http://www.ms-j-chubu.jp>

◆ 第 14 回公開気象講座の報告

日本気象学会中部支部主催の公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるもので、今年で 14 回目を数えます。今年度は、「気象観測のブレークスルー：GPS 掩蔽法」というテーマで 8 月 25 日（月）に名古屋能楽堂会議室において行われました。牧原康隆支部長の挨拶の後、京都大学生存圏研究所の津田敏隆氏により「GPS で気温プロファイルを測る：GPS 電波掩蔽法」というタイトルで、GPS(伝播)掩蔽法による気温・湿度プロファイル導出の基本原則とデータの特徴、GPS 掩蔽データを用いた国内外の研究の動向を紹介していただきました。次いで、情報通信研究機構電磁波計測研究センターの村山泰啓氏により「GPS 掩蔽データからの気象情報の抽出：水蒸気プロファイルの推定」というタイトルで、GPS 掩蔽観測の信号データに含まれる気温・水蒸気(湿度)の情報から、それぞれを精度よく求める手法やその成果について詳しく紹介していただきました。最後に、気象庁気象研究所の小司禎教氏により「天気予報精度向上に向けた GPS 掩蔽データの利用」というタイトルで、数値予報の原理を解説し、GPS 掩蔽データを用いることで、数値予報に大きな改善がもたらされることを具体的な事例を示しながら紹介していただきました。会場には 50 名を超える参加者がありました。参加者のアンケートでは、GPS 掩蔽法の斬新さとその重要性が分かり、大変有意義であったとの意見が多く見られました。

◆ 平成 20 年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム

今年度の中部支部研究会は 12 月 1 日（月）および 2 日（火）の 2 日間にわたって、石川県金沢市内の金沢駅西合同庁舎において開催する予定です。既に講演の申し込みは締め切られています。講演の申し込み件数は 22 件に及び、平成 20 年 8 月末豪雨、エアロゾル、気候システムや大気海洋相互作用に関する研究など、いろいろな分野における講演が予定されています。会員の皆様には、講演要旨集もあわせて配布する予定ですが、研究会のプログラムを以下に添付いたしました。ご興味のある方は是非とも会場までお越しください。

◇ 平成 20 年度支部研究会概要

日時： 2008 年 12 月 1 日（月曜日）13:00 ～ 18:20（終了後、別会場で懇親会）

12 月 2 日（火曜日）09:00 ～ 12:00

場所：金沢駅西合同庁舎 6 階 共用会議室（金沢市西念 3 丁目 4 番 1 号）

交通案内(周辺地図は支部だよりの最後にあります)：

会場となる金沢駅西合同庁舎へは JR 北陸本線金沢駅下車。金沢駅西口バスターミナルにて、6 番バス乗り場から県庁方面行きのバスに乗り、駅西合庁前にて下車してください。

所要時間は約 5 分です。徒歩では金沢駅西口より約 20 分(1.6 Km)かかります。

◇ 講演プログラム

12 月 1 日（月）

13:00 ～ 13:10

開会の辞

牧原康隆(中部支部長/名古屋地方気象台)

13:10 ～ 13:30

塩澤雅之*・轡田邦夫・小山 真（東海大学海洋学部）

「衛星散乱計による海上風・海面応力格子データの再構築と精度検証」 [P]

13:30 ~ 13:50 須田 祥*・日原勉・岩崎慎介・久保田雅久 (東海大学海洋学部)

「全球海面大気比湿データの解析」 [P]

13:50 ~ 14:10 渡部 剛*・久保田雅久 (東海大学海洋学部)

「全球降水フラックスデータの解析と比較検討」 [P]

14:10 ~ 14:30 佐々木孝将*・木村紋野・横田川恵梨・土屋裕也・久保田雅久 (東海大学海洋学部)

「海洋による南北熱輸送に関する研究」 [P]

14:30 ~ 14:50 近藤淳也*・巒田邦夫(東海大学海洋学部)・永延幹男(遠洋水産研究所)

「南大洋上における海上気象変動特性および南極半島近海の上層海況変動への影」 [P]

14:50 ~ 15:05 休憩

15:05 ~ 15:25 市瀬和義* (富山大学人間発達科学部)・木下正博 (富山県総合教育センター)

「富山湾における上位層気候」 [P]

15:25 ~ 15:45 田辺久之* (元常葉学園大学)

「気象観測 30 年と地域気象教育」 [P]

15:45 ~ 16:05 林 弘文* (元静岡大学)

「地球温暖化と大循環モデルについて」 [OHP]

16:05 ~ 16:25 東海林孝幸* (豊橋技術科学大学エコロジー工学系)・Asep Sofyan (Dept. of Environmental Engineering, Institute of Technology, Bandung)・北田敏廣 (豊橋技術科学大学エコロジー工学系)

「ジャカルタの都市拡大と気温上昇との関連性について -70 年代と現代との比較-」 [P]

16:25 ~ 16:40 休憩

16:40 ~ 17:00 平松章男* (北陸先端科学技術大学院大学/日本気象予報士会)・HUYNH Van Nam・中森義輝 (北陸先端科学技術大学院大学)

「季節予報の実践的利用に関する研究

—異常天候早期警戒情報を利用した在庫管理の意思決定について—」 [P]

17:00 ~ 17:20 吉野 純* (岐阜大学工学研究科)・野村俊夫 (滋賀県南部振興局)・安田孝志 (岐阜大学工学研究科)

「岐阜大学局地気象予報システムの降水量予測精度向上に関する研究」 [P]

17:20 ~ 17:40 渡辺真二*・坪井嘉宏、肆矢朗久 (名古屋地方気象台)

「中部地方におけるメソ対流系の発生状況」 [P]

17:40 ~ 18:00 肆矢朗久*・坪井嘉宏 (名古屋地方気象台)

「2008 年 8 月 28 日~29 日に愛知県で発生した大雨について」 [P]

18:00 ~ 18:20 篠田太郎*・坪木和久・加藤雅也・出世ゆかり・野村光春・瀬瀬丈晴・尾上万里子・大東忠保・上田博 (名古屋大学地球水循環研究センター)

「マルチパラメータレーダと雲解像モデル CReSS を用いた平成 20 年 8 月末豪雨の初期解析結果」 [P]

18:30 ~ 懇親会

12 月 2 日 (火)

09:00 ~ 09:20 草刈智一*・松崎丈泰 (信州大学大学院)・鶴田圭佑・寒川典昭・

山崎基弘 (信州大学工学部)

「降水パターングラフにみる降水形態の分析」 [P]

09:20 ~ 09:40 五味千絵子*, 葛葉泰久, 福山薫 (三重大学大学院生物資源学研究所)

「NCEP/NCAR 再解析データを用いた世界的な降水極値の傾向」 [P]

09:40 ~ 10:00 東 佑次*・葛葉 泰久 (三重大学大学院生物資源学研究所)

「尾鷲周辺の降雨に与える地形の効果について」 [P]

10:00 ~ 10:20 皆巳幸也* (石川県立大学生物資源環境学部)・財前祐二・高橋 宙・岡田菊夫・酒井 哲 (気象研究所)

「能登半島における降水化学に対する黄砂の影響」 [P]

10:20 ~ 10:35 休憩

10:35 ~ 10:55 當房豊* (金沢大学)・張代洲 (熊本県立大学)・山田丸 (熊本県立大学)・中田直伸・岩坂泰信 (金沢大学)

「海洋大気中における鉱物粒子上での塩化物の形成について」 [P]

10:55 ~ 11:15 市川裕樹* (名古屋大学環境学研究科)、増永浩彦 (名古屋大学地球水循環研究センター)、神沢 博 (名古屋大学環境学研究科)

「北半球夏季インド洋における巻雲増加について」 [P]

11:15 ~ 11:35 酒井久美* (富山大学大学院理工学教育部)・川村隆一 (富山大学大学院理工学研究部)

「日本の暖冬・寒冬に関わる ENSO と NAO の複合的影響」 [P]

11:35 ~ 11:55 立花義裕* (三重大学大学院生物資源学研究所)・高野陽平 (コロラド州立大)・岩本勉之 (防災科学技術研究所)

「日本海側の豪雪の長期変動と、Siberian-Japan pattern、日本海 SST との関連」 [P]

11:55 ~ 12:00 講評 中村健治 (気象学会理事/名古屋大学)
閉会の辞

講演は*が付けられた方により行われる予定です。各講演のタイトルの後に付けられている [P] は PC プロジェクタによる講演を、[OHP] はオーバヘッドプロジェクタによる講演を表します。今回の支部研究会では、講演 1 件あたりの時間は 20 分を予定しております。各講演者の方は講演時間 15 分、質疑時間 5 分を目安とした講演をお願いいたします。

支部研究会についてのお問合せ先

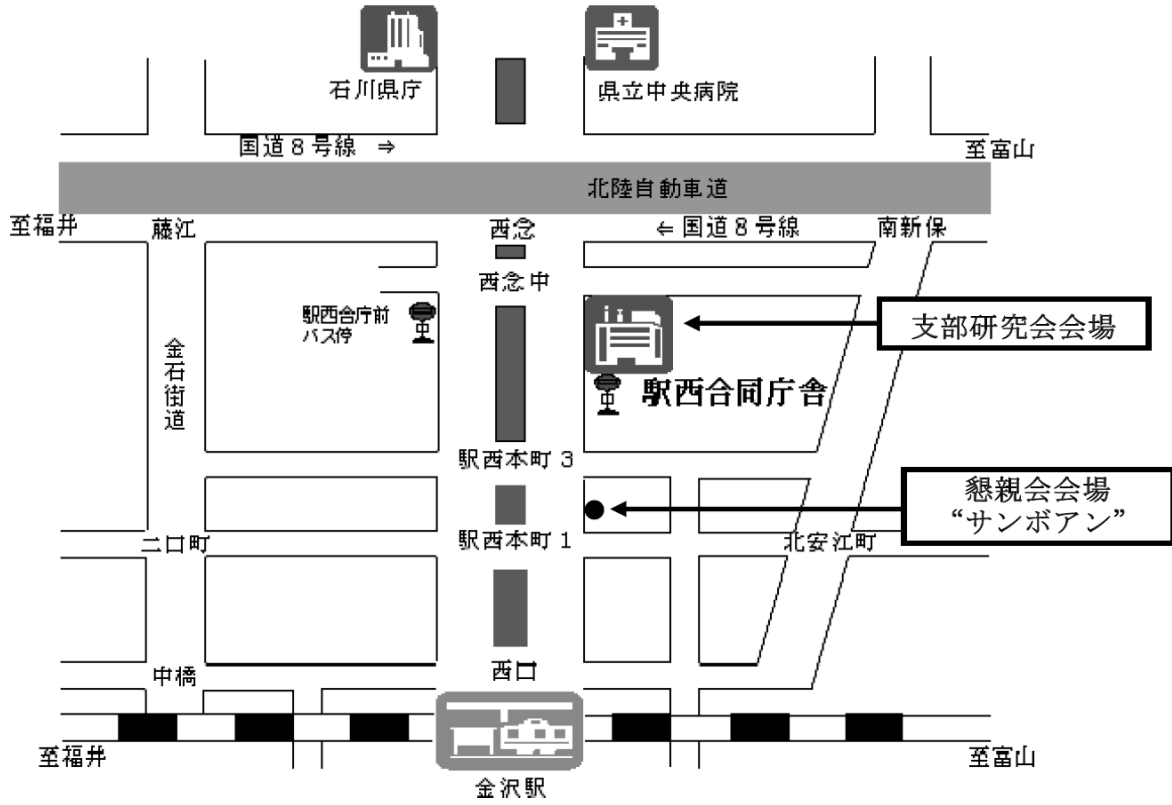
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学地球水循環研究センター
藤波初木

hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp

電話：052-789-3474

FAX：052-789-3436

平成 20 年度日本気象学会中部支部研究会 会場案内図



(地図：金沢地方気象台のウェブサイトより．一部情報を付加した)